錦町議会だより

けんじろう

2025.NO 152

現広報委員で発行した「議会だより」は２年間で８回を数えます。

目　次

・第１回定例会 …… 2・3
・一般質問一覧 …… 4
・一般質問 …… 5～10
・総務建設常任委員会調査報告 …… 11・12
・厚生文教経済常任委員会調査報告 …… 13・14
・子ども議会 …… 15
・議会のうごき・軌跡 …… 16

熊本県　錦町議会／ 2025 年４月 30 日発行

令和７年 第１回 定例会

令和７年度当初予算を可決

各会計の予算総額

92億9,071万8千円

（水道事業会計・下水道事業会計を除く）

うち一般会計予算は

65億7,718万8千円

合併７０周年・町制施行６０周年を迎える節目の年

「人の和を大切にし　老いても安心して暮らせる町　若人に夢と希望が持てる町」

の実現へ向けた取組みを！

令和７年第１回定例会は、３月 11 日から 19 日までの９日間の日程で行われ、令和７年度各会計当初予算６件のほか、令和６年度各会計補正予算５件（「秘密基地ミュージアム」展示室の空調設備工事費２千万円など）、条例改正等 14 件（議員発議 1 件含む）、人事案件 10 件などが上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。

令和７年度の各会計当初予算に関する議案については、初日に町長から提案理由の説明があり、12 日から 17 日（15・16 日は休会）の４日間、総務建設、厚生文教経済の２つの常任委員会による調査※、19 日に各常任委員会の調査報告のあと質疑・採決を行い、いずれも原案のとおり可決した。

令和７年度の各会計当初予算総額は、９２億９，０７１万８千円。うち一般会計予算は６５億７，７１８万８千円で、前年度より 0.4%の減となった。

また、陳情１件が上程され、総務建設常任委員会（吉田委員長）に付託した結果、採択とした。

なお、今回の一般質問には、６人が登壇し、執行部の考えを質した。

※各会計当初予算についての各常任委員会調査報告書は P11 ～掲載。

条例改正等

①錦町債権管理条例

町の債権管理を適切に行うため、統一した管理ルールを制定し、町民負担の公平性と財政の健全性を確保するもの。

②錦町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令により、保険税の限度額が引き上げられたため、所要の改正を行うもの。

③刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

「刑法等の一部を改正する法律」により、「懲役及び禁錮」が「拘禁刑」へと改められたため、関係条例の罰則規定を改めるもの。

④錦町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院及び熊本県人事委員会の勧告に準じ、令和７年４月からの給与制度の見直しを行うもの。

⑤錦町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び錦町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業法等の一部改正により「仕事と生活の両立支援の拡充」が行われたため、所要の改正を行うもの。

⑥錦町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

デジタル社会形成基本法の一部改正に伴い、引用する条文にずれが生じたため、改めるもの。

⑦錦町防災会議条例の一部を改正する条例

更なる防災対策を図るため、委員の定数等を拡充するもの。

⑧錦町消防団条例の一部を改正する条例

消防団員の処遇改善のための政令にならい、退職報奨金の勤務年数区分に、新たに「35年以上」を設けるもの。

⑨錦町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び錦町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令により、各種基準が見直されたため、関係条例を改めるもの。

⑩錦町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

厚生労働省令により、地域包括支援センターの職員配置基準が拡充されたため、所要の改正を行うもの。

⑪錦町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

栄養士法の改正により、施設の職員配置基準が改められたため、所要の改正を行うもの。

⑫錦町産業振興資金貸与基金条例の一部を改正する条例

物価高騰など厳しい社会情勢の中、経営を余儀なくされている農林業及び商工業経営者への支援拡充を図るため、所要の改正を行うもの。

⑬錦町の行政財産及び公の施設使用料条例の一部を改正する条例

学校施設使用者の利便性を考慮し、使用料を見直すもの。

⑭錦町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

（議員発議）

「刑法等の一部を改正する法律」により、「懲役及び禁錮」が「拘禁刑」へと改められたため、所要の改正を行うもの。

その他

①町道路線の廃止について

②町道路線の認定について

道路改良工事に伴い、松里線（路線番号74）と橋の口追瀬線（路線番号95）の2路線を廃止し、松里線（路線番号74）1路線として認定するもの。

③人吉球磨定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について

陳情採択

①水俣病の早期解決を国へ要望する意見書の採択を求める陳情書

報告

①和解及び損害賠償額の決定について

第1回臨時会

令和7年2月4日に行われ、一般会計の補正予算についての議案が2件上程され、原案のとおり可決した。

なお、補正（6，606万4千円）の主な内容は、国の経済対策で、住民税非課税世帯へ3万円、子ども一人につき2万円を加算する、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の他、くま川鉄道経営安定化補助金、町道改良工事に係る事業費など。

契約

①水無川橋上部工工事請負変更契約について

契約金額

変更前　143，198，201円

変更後　157，034，305円

契約の相手方　福岡県北九州市若松区大字安瀬62番地3

松田建設工業株式会社

第2回臨時会

令和7年3月28日に行われ、一般会計の補正予算などの7議案が上程され、いずれも原案のとおり可決した。

なお、補正の主な内容は、財政調整基金への積み立ての他、各事業の確定に伴う減額や繰越明許費の追加など。

「財産の取得について」

取得の目的　あいねっと放送用タブレット端末及びWi-Fiルータ購入

品名等　タブレット端末及びWi-Fiルータ各100台

取得金額　8，618，500円

契約の相手方

愛知県刈谷市昭和町一丁目1番地

株式会社デンソー

人事案件

農業委員会委員の任命について

住所　錦町大字西1892番地
氏名　尾方　安技子
住所　錦町大字西3421番地41
氏名　古里　直樹
住所　錦町大字西126番地
氏名　水本　重利
住所　錦町大字西737番地6
氏名　柳瀬　真也
住所　錦町大字一武2176番地14
氏名　坂口　雅子
住所　錦町大字一武2176番地6
氏名　立尾　富美香
住所　錦町大字一武1212番地
氏名　田浦　孝利
住所　錦町大字木上西1858番地
氏名　尾方　栄氏
住所　錦町大字木上東599番地1
氏名　中村　竜郎
住所　錦町大字木上北2347番地23
氏名　山崎　真一

選挙管理委員 及び選挙管理委員補充員の選挙について

選挙管理委員

住所　錦町大字西2488番地5
氏名　大坂間　弘美
住所　錦町大字木上東14番地3
氏名　久保田　利昭
住所　錦町大字一武2665番地2
氏名　石田　親子
住所　錦町大字一武4609番地2
氏名　末吉　厚則

選挙管理委員補充員（補充順）

住所　錦町大字木上東175番地1
氏名　久保田　健嗣
住所　錦町大字一武2891番地
氏名　松田　こずえ
住所　錦町大字西1482番地
氏名　米田　明美
住所　錦町大字木上北1570番地
氏名　税所　鉄男

令和７年第１回錦町議会定例会一般質問一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
丸小野議員 （P5）	錦町の医療・介護について	① 医療・介護の状況と問題点。 第６期錦町総合計画（基本計画【後期】）より。 ② 福祉・介護・健康づくり対策（P71）について。 ③ 将来の展望。
石松議員 （P6）	生活習慣病予防の対策は	① 肥満の現状とどのような見解を持ち、どう対応しているのか。 ② 特定健診・後期高齢者健診・がん検診の受診率は。 ③ 健康受診率向上の取り組みは。 ④ 後期高齢者の人間ドック助成について。 ⑤ 中学生健康診断の取り組みについて。
	部活動の地域移行について	① 中学校の部活動の現状について。 ② 中学校の部活動の地域移行について。
早田議員 （P7）	錦町奨学金制度の概要について	① 奨学金の現状について。（件数、金額、返済状況等） ② 所得による奨学金貸与額の細分化について。 例：大学　月額50,000円を所得に応じ50,000円 40,000円　30,000円とする。 ③ 名称の変更予定は。
	通学路への防犯カメラ導入について	① 現在の設置台数と場所について。 ② 防犯カメラを増やす予定は。 ③ 一般家庭での防犯カメラ導入のニーズが高くなっている。錦町リフォーム補助金制度の対象にしてはどうか。
	川辺川流水型ダム完成までのロードマップについて	① ダム本体の基礎工事から事業完了年度について。
吉田議員 （P8）	緑の流域治水の一つ田んぼダムについて	① 田んぼダムの今後の取り組みについて。（再質問）
	子どもたちの可能性を引き出す取り組みと交流人口増加について	① 子どもたちにスケートボード会場の施設の新設、人吉球磨は一つの考えで錦町で取り組めないか。（再質問）
	本町の基幹産業である農業対策について	① 収入保険加入時の支援の考えは。（再質問）
梶原議員 （P9）	地域福祉を支えるボランティアの支援について	① 錦町ボランティア支援事業について。 ② 錦町ちょこっとお手伝いボランティアについて。
竹田議員 （P10）	錦町商工会事業と事業所の今後について	① 街路灯の今後について。 ・　ＬＥＤ交換があと１７基、町にて交換は。 ・　将来に向け、街路灯の町での維持管理は。 ② 錦町のゴミと指定ゴミ袋収納倉庫について。 ・　年間ゴミ搬入量と処理費用は。 ・　ごみ収集日が変更になったが、現状と問題は。 ・　各地区のゴミ収集場にネット袋の設置は。 ・　錦町指定ゴミ袋倉庫設置について。 ③ 役場施設や事業所店舗の照明器具の今後について。 ・　庁舎等のＬＥＤ化の今後の計画は。 ・　店舗のＬＥＤ化への補助の検討を。

一般質問

町政のここが聞きたい！

今回は6人が登壇（要約掲載）

錦町の医療と介護について

丸小野（まるおの）　聖一（せいいち）　議員

丸小野　まず最初に、昨年、後半に体調を崩しまして周りの方々にご迷惑をお掛けしました事をお詫び致します。その経緯もあり、当町の医療・介護保険の現状は。

保険政策課　国民健康保険の被保険者は1312世帯、2177人と減少傾向となっており、後期高齢者医療の被保険者は1757人と若干の増加傾向となっている。介護保険の被保険者は3515人と増加傾向から今後しばらくは横ばいで推移し、その後減少すると考える。

丸小野　町内の医療機関と介護施設は。

保険政策課　町内には6つの医療機関があり、いずれも入院できるところはない。介護施設は8つあり、錦町住民が優先して入所できる地域密着型施設が4施設ある。

丸小野　日本全体の医療費の財源は全体で48兆円。半分の24兆円は保険料であり、35％17兆円が税金、残り15％の7兆円が患者負担である。問題はこの10年で医療費の伸びが2・6％に対して総雇用者の報酬の伸びが1・8％であることである。その他当町での問題点は。

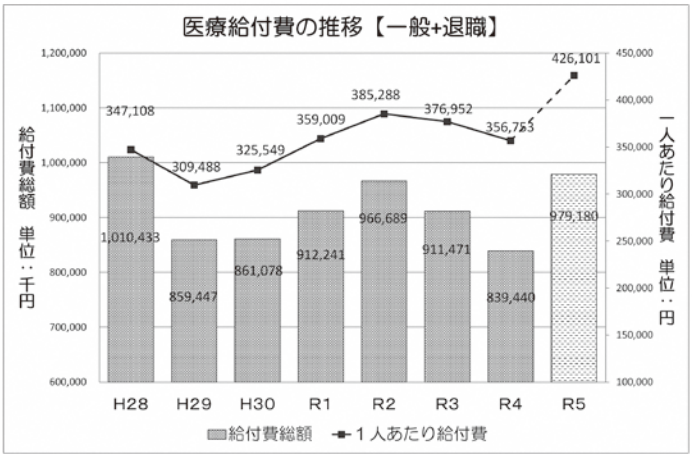
保険政策課　近年の少子高齢化で今後医療介護分野での人手不足が深刻化し、医師不足も顕著となる。また、人吉医療センターにおける産科医師の不在により、産科救急疾患や多胎妊婦等のハイリスク妊婦を遠方の医療機関に搬送せざるを得ない状況である。また、比較的軽症の救急患者を受け入れる在宅当番医制も、医師の高齢化や働き方改革などで維持することが困難になってきている現状である。

丸小野　医療・介護の将来展望は。

保険政策課　医療技術の進歩や高額な新薬の承認などにより、一人当たりの医療費は高くなると考える。介護給付費は、要介護認定者の増加とともに増加すると考える。様々な問題があるにせよ、健康寿命を伸ばす事が重要と考える。健康寿命を伸ばすには、①適度な運動②適切な食生活③禁煙④健康診断の受診が大事だと言われている。更には高齢になっても社会参加をすることで生活が充実し、健康面・体力面に自信がつき、生きがいを感じる機会が増え、病気や要介護の状態を予防するという考えもある。

丸小野　町長の医療・介護に対する考えは。

町長　若いときから健康に関心を持ち、日頃から運動するなど様々な努力をする事が大事と考える。町としてもできる限りサポートしていく。



錦町の国民健康保険の推移

生活習慣病予防の対策は

石松（いしまつ）　まゆ子（まゆこ）議員

石松　特定・後期高齢者・がん健診の受診率と国の目標である60％以上の受診率達成のメリットは。

健康増進課　各健診の受診率は、特定健診63・5％、後期高齢者23・3％、胃がん13・9％、肺がん14・8％、大腸がん15・4％、乳がん25・3％である。特定健診が国の目標値である60％を超えていることにより、報奨金として令和5年度で県の特別交付金118万8千円が交付されている。

石松　熊本県は糖尿病と糖尿病予備軍の割合が男性26・8％、女性21・8％と全国で最も高い。また、生活習慣病は我が国の死亡原因の6割、国民医療費の3割を占め、肥満が背景にあると言われている。錦町の肥満の現状と対策は。

健康増進課　小中学生の肥満の割合は、国・県と比べて高い。特に40～50歳代での肥満が増加している。運動習慣と生活習慣の見直しを指導しながら健診率を上げ、重症化しない対策に努める。

石松　平成28年度から、若い世代への健康に対する意識づけや、早期介入を目的に中学生健診の取り組みをされている。継続した意識づけのためにもあと2～3回の健診の取り組みの考えと、食生活改善のために野菜摂取量がわかる測定器設置の考えは。

健康増進課　継続的な健診を希望する保護者も多いが現在のところ検討していない。また、野菜摂取測定器はかなり高額になるので補助金等の活用が可能か考える。

中学校健診の様子

部活動の地域移行について

石松　国が中学校部活動を社会体育への移行をすすめる中、錦町の部活動の現状は。

教育振興課　文化部を含め13の部活動があり、約8割の生徒が部活動をしている。現在は、錦中学校単独で競技会の参加が可能な状況である。また、県の補助を受けて外部指導員も配置し、教員の負担軽減につながっている。中学校の部活動は、学校教育の一環としての部活動であることも考える。このようなことから、慎重に今後の方針を検討し、委員会の中で協議していく。

石松　中学校部活動の意義と地域移行の今後の取り組みの考えは。

教育長　基礎体力の向上とともに、活動を通して向上心や責任感、仲間との連帯意識、忍耐力などの精神面の成長と共に授業にはない貴重な学びの時間であり、教師が子供一人一人に関わることで教師としての資質向上に役立ったと考える。また条件が整った競技から順次移行していくと考えているが、経済的理由により、部活動に参加できないという状況は避けなければならないと考える。

将来、有能な人材育成を目的とする、錦町奨学金制度

早田　錦町では、向学心に富み、優秀でかつ経済的理由により修学困難な学生に対し、学資を貸与する奨学金制度がある。奨学金を申し込む場合の算定方法は。

教育振興課　交付対象となる収入基準額がある。家族の年収から、様々な控除を行い算定収入額が下回る場合に奨学金の貸与者となる。例えば、年収８００万円子どもが５人いる世帯と、年収４００万円子どもが１人の世帯の場合、８００万円の世帯が対象となり、４００万円の世帯が対象外ということもあり得る。

収入基準額というのは、年収額だけで単純に決定するわけでなく、年収から生活に必要な基礎控除を行い貸与者として決定している。

わさだ　かずひこ
早田　和彦 議員

奨学金が必要な方は、ギリギリの方では

早田　奨学金が必要な方は、算定額ギリギリの方。貸与額を細分化してはどうか。また、帰町を促すためにも細分化の制度ができないか。

教育振興課　貸与額の細分化については、現在のところ新たに設ける予定はない。基準を緩くすると複雑化が予想されるので、慎重に検討する必要がある。また、若者の帰町を促すための方策となり得るかということに関しては、審議会で協議検討することは可能と考えている。

早田　ギリギリの方も守らないといけない。余裕があるわけではないので検討会でお願いしたい。

自治体による防犯カメラ導入の動きがある　自治体の見守り方が変化している

早田　防犯カメラの設置台数が本町では27基だが、安全対策の一つの手段として有効だと思う。増設が必要と考えるが。

総務課　現時点で増設の検討はないが、今後も必要性を感じる場所があれば検討していきたい。

早田　私は、必要だと思う。関係機関と協議し年間計画を立て増設する必要があると考える。防犯カメラは一般家庭でもニーズがある。リフォーム補助金のメニューに入れられないか。

地域整備課　現在、錦町リフォーム補助金では対象としていないが、行政区の要望によって設置している防犯灯と同様に公共性が高いと思われるので、今後検討してまいりたい。

早田　地域を守ることは非常に大事である。区長会でも、是非取り上げていただきたい。

道の駅錦の防犯カメラ

この町で夢をかなえる

吉田（よしだ）　眞二（しんじ）　議員

る。これまで同様に県営事業での取り組みを要望していく。

流域治水の一つ田んぼダム

吉田　緑の流域治水の一つとして進められている田んぼダム。急激な河川への流入、河川のピーク流量軽減を目的に熊本県が普及・推進、町内全域での取り組みが必要と考える。今後、町としての普及の取り組みは。

農林振興課　これまで県営事業で実施。今後、県は団体営事業として取り組む予定。受益者負担は発生しないが団体営事業となると市町村の事業負担割合は増加。緑の流域治水の重点10項目に位置付けられている。

田んぼダムに取り組んでみませんか（排水桝）

収入保険で農業の安定

吉田　農業収入保険、加入時の掛け金の一部を支援できないか。

農林振興課　収入減少に広く備え全体的な農業経営の安定化につながる為、当初予算に保険料の補助を計上。

町を元気に

吉田　交流人口増加と人吉球磨の中央に位置する錦町で、人吉球磨は一つと考えて、スケートボードを推進・施設の提供・くらんど公園の一部を施設整備する考えはないか。

教育振興課　今現在、施設整備の計画はしていない。菊陽町が大規模なアーバンスポーツ施設の整備を計画され、先月には国内トッププレーヤーによるイベントを実施。パリオリンピック以降は競技者の増加が顕著に見られる競技。1月には、あさぎり町でもイベントが開催され、多良木町からも競技会場の確認調査が行われている。人吉球磨管内での競技場の確保に苦慮されているのが現状であるが、民間との連携による取り組みができないか検討することは可能と考える。民間企業の店舗や工場等の廃業した空き地や、すでにアスファルト舗装されている空き地での利用を検討するなど、施設の整備検討と、有効利用できる場所の選定調査を進めることはできると考えている。

企画観光課　町としては、現状のくらんど公園を維持しながら、利用者の皆様に満足いただける魅力ある公園として必要な整備を進めていく。

吉田　町の施設等が難しい場合は民間施設等の検討も願いたい。オリンピック選手が生まれるかもしれない。町単独では厳しいので、国或いは、熊本県に、県南振興、それと交流人口の増加として要望できないか。

町長　スポーツ振興が、果たして県南振興に繋がっていくか検討する必要がある。

吉田　子供から大人まで特に錦町を支えてこられた方々が（この町でなかったら夢はかなわなかった）と思っていただけることを願い・思う。

地域福祉を支えるボランティアの支援について

梶原（かじわら）　誠二（せいじ）議員

梶原　錦町ボランティア支援事業（ボランティアポイント制度）の利用状況は。

保険政策課　ふれあいいきいきサロンを中心とした地域の通いの場及び元気が出る学校等の介護予防事業での利用があり、ボランティア団体では傾聴ボランティア和み及びあったかサークル心結での利用があっている。令和5年度は、百三十一人、四十一万八千五百円の実績があった。

梶原　その事業の中で、通常のボランティアと介護予防サポーターとの限度額が、それぞれ八千円と五万五千円と違うが、通常のボランティアの中には、限度額を超えて活動されている方もあり、現状の利用状況では、予算額を超えることは無いと思われるので、限度額引き上げの検討をお願いしたい。

保険政策課　限度額を超えて活動されている通常のボライアがおられることは認識しており、現状の利用状況からみて限度額については検討したい。

梶原　ボランティアの支援ツールとしてのボランティアポイント制度は、社会福祉協議会本来の事業である地域支援としての性質があり、社会福祉協議会での取組へとシフトすべきと考える。令和6年第2回定例会の一般質問において、過去最高の介護保険料となった要因として要介護3の割合が県平均より極端に高いことを指摘したが、その要因の把握はできているか。

保険政策課　要因の詳細は把握できていない。対象者を個別に分析する必要があると思う。

梶原　介護予防事業の充実により要介護認定率は県下で最下位の方であるが、県平均と比べて要介護1の割合が低くて、要介護3の割合が高いという特殊な要因を個別に分析し、対策を早急にすべきと考える。それは、専門職による個別支援組織の地域包括支援センターの業務であると考える。介護保険料を含めて、具体的な課題解決を目指す「個別支援」としての地域包括支援センター、いきいきサロンや小地域ネットワーク等多様な取組とつながり続けることを目指す「地域支援」としての社会福祉協議会というふうに役割を明確にした上での連携組織を提案したい。

保険政策課　地域包括支援センター及び社会福祉協議会の業務内容を整理し、ボランティア支援のプラットフォームとしての社会福祉協議会業務の充実を連携して進めたい。

傾聴ボランティア「和み」

錦町街路灯の今後について

竹田（たけだ）　農利人（のりと）議員

ゴミとゴミ袋倉庫について

竹田　年々人口減少、高齢化、ひとり暮らしも増えている中ごみの搬入量、ごみ処理費用は。

住民福祉課　錦町や郡内のゴミ量は人口の減少原因で減少傾向、処理費用負担金は増加傾向にあり、処理料は4千445tで11t減少、ゴミ処理費用は1億1642万円。

ゴミ収集場へ資源用ネット袋を設置

竹田　街路灯は、商店街のイメージアップと犯罪防止、青少年健全育成や交通事故防止、街路灯維持管理、景観美化整備及び明るい町づくり等に寄与しているが、街路灯LEDへの未交換残り17基を町にて交換できないか。

企画観光課　令和4年度の街路灯の整備、商店街リノベーション支援事業補助金を活用したが、商工会の財源不足で、28基をLED化したが、今の時点では残り17基の整備は厳しい。

竹田　各地区のゴミ収集場に資源ゴミ用のネット袋を設置できないか。

住民福祉課　提案のネット袋の設置については、各収集場にて検討して頂きゴミ対策委員の会議や区長会等に紹介したい。

竹田　錦町ゴミ袋倉庫設置について、現在、商工会の会議室に収納の為、会議室の有効使用が出来ないので、中古コンテナを購入、設置計画を町へ申請書提出したが協議の結果は。

総務課　町有地への設置申請書の提出があり、設置箇所や手続等、今後協議していく。

竹田　現在の在庫袋等容積計算では、収納スペースと通路を入れると、中古コンテナ30フィートの設置計画を商工会では考えている。

役場施設や店舗照明器具の今後は

竹田　水銀に関する水俣条約第5回締約国会議にて、一般照明の蛍光ランプの製造、輸出入が2027年までに廃止することが決定されたが、庁舎や各施設のLED化は。

総務課　庁舎の執務部分は、LED化が完了残りの部分は、蛍光ランプの在庫情報を確認しながら、令和7年に調査し、令和8年にて予算に反映できればと考えている。その他の町有施設は完全にはLED化は終わっていない。修繕の際に随時切り替えている施設もある。

竹田　各店舗のLED化への補助は出来ないか。

企画観光課　町単独での補助は厳しい。商工会職員や町の担当職員が情報を共有し、申請可能な補助事業を探していく。

総務建設常任委員会　調査報告書

調査案件
・令和７年度錦町一般会計予算
・令和７年度錦町水道事業会計予算
・令和７年度錦町下水道事業会計予算
に係わる総務建設常任委員会所管事項

調査の結果及び意見

■総務課

（行政係）

令和６年度は災害関連事業の終息が見える中、職員の負担軽減までには至っていない。業務改善だけではなく、職員の労務管理、適正化に今一度努められ、本当の意味で危機管理体制整備を願う。

行政手続きの簡素化と町民への負担軽減について、これまでの申請書や請求書等の押印の省略に取り組んでこられたが、デジタル社会が到来する中、その技術を活用した暮らしに役立つシステムを取り入れ、住民サービスのさらなる向上を望む。

（財政係）

一般会計予算額は６，５７７，１８８千円であり、前年度に対し、２９，１９９千円で０．４％減となっている。

地方債現在高の見込みに関する調書に記されているとおり、令和７年度の起債の借入見込額よりも元金償還見込額が多いことから、相対的に地方債残高は２２０，０００千円の縮減が見込まれる。

歳入のうち繰入金は５９１，８００千円で前年度よりも６．７％減となっているものの、減債基金繰入金に関しては、前年度よりも４２，３９８千円増となっており、公債費の負担が厳しい状況にあることが伺える。

このことから、将来負担比率の上昇が懸念されるため、予算の執行に際しては、基金繰入を最小にすることに留意されつつ、引き続き財政の健全性確保に努められたい。

（消防交通係）

令和６年度に続き、地域住民からの要望により防犯灯25基の新設が予定されている。

また、災害緊急対応として食糧・水等の備蓄が行われているも、賞味期限切れが近くなっている備蓄物資については、防災訓練時に参加者に配布することも有用と思われる。

なお、消防団員の減少に歯止めが利かないことも懸念されることから、機能別消防団員・女性消防団員の増員も考えていかなければならないと思われる。

くま川鉄道に関し、経営安定化補助金として、経常損失分１９，０００千円、施設整備分６，９８５千円に加え災害復旧費２４，４１７千円と計上してあり、一部不通状況であった路線も令和８年度に全線開通と思われる。

千円を計上されているが、くま川鉄道の開通に伴い、収入の減少が見込まれるため、各市町村と検討する必要があると考える。

（管財係）

大王原公園仮設団地利活用事業については、県より譲渡を受け、１１７，１２０千円をかけて整備され、令和７年４月より入居開始が決まり、全戸数の入居を期待するも、人口減少が本町に始まることも懸念されるが、広報や新聞等のメディアを活かして１００％の入居を期待する。

■企画観光課

（企画情報調整係）

ふるさと回帰推進事業では、「地域おこし協力隊」２人分の報酬が計上されている。募集は国の制度や県等のプラットフォームを利用し、大都市圏で開催される移住定住相談会等でもＰＲされているが、今後は、色々な情報を取り入れながら専門分野に特化した隊員の募集も考慮されたい。

空き家活用支援補助金５００千円、住宅新築・購入支援補助金４，４００千円、移住支援補助金２，０００千円が計上されている。今後も支援補助金等を活用した移住定住に大いに期待したい。

（地域振興係）

令和７年度で３年目を迎えるコンパクトＳＤＧｓスタディプログラム事業については、本年度は、ＳＤＧｓを核とした新たな教育旅行プログラムのコンテンツ作成、ガイド教本の作成等を実施した。令和７年度は教育旅行プログラムの造成及び旅行事業者、教育機関等への営業活

動などを通した地域活性化を望む。

くらんど公園遊具新設工事1，695千円、くらんど公園内大型遊具周辺の階段の組木の劣化による改修工事3，841千円が計上されている。今後も安心安全に配慮し公園利用者の増加に努められたい。

空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会事業、オープンイノベーションによる開発商品PR業務委託料は前年同額の10，000千円が計上されている。町の特産品を中心に開発した商品の魅力を発信し、地域経済の発展に寄与することを期待したい。

人吉海軍航空基地資料館空調設備新設工事費に20，000千円計上されている。入館者数は令和5年度18，311名、本年度18，733名（3月12日現在）で前年度比約102％であったことは、非常に評価したい。令和7年度は戦後80年の節目の年となるので、関連施設と協力し修学旅行生を含む来館者が快適に見学できるよう努められ、更なる集客を図られたい。

■税務課

町税（町民税・固定資産税・軽自動車税・市町村たばこ税・入湯税）に関しては、1，199，049千円で、前年比50，713千円の増となっている。

歳出については、賦課徴収費が前年度比1，806千円の増となっており、航空写真の取り込み処理経費として委託料448千円が計上されている。円滑な事務事業の執行に努められたい。

■地域整備課

行政区において行われている町道手入れについては、報償費という性格上、これまでの定額及び世帯数による算定から、令和7年度より参加者の実績により算定されることになる。行政区からの実績報告については、不信感を抱かれぬよう写真を添付する等、公平公正な支給に努められたい。

道路パトロール等の管理業務を含めた会計年度任用職員を昨年に続き採用、町民の要望に速やかに対応が可能と期待できる。

国や県の土砂を満載した大型車が搬出入のため町道を通行しており、路面が痛んでいる箇所が散見される。これらの箇所については、しっかりと国・県に復旧を要請するとともに、土砂搬出入等の計画について事前に双方で協議する体制の構築を検討されたい。

道路台帳整備については、管内町村の状況を調査しながら工事に合わせて整備ができないか検討されたい。

（水道事業会計・下水道事業会計）

水道事業については、令和8年度での料金改定を計画されているが、水道加入が100％ない中で不公平を感じる住民もいるのではないかと思われる。住民への説明に際しては、広報のみならず住民への直接の説明も必要であり、より丁寧な説明を検討されたい。

上水道・下水道共に厳しい財政状況が続く中、安定的な経営を目指し、更なる経費節減と料金回収の強化及び加入率の向上を図られたい。

■出納室

歳入は、前年並みの予算計上であるが、歳出では人件費を除いた会計管理費が、前年当初比で111％となっている。主な要因としては、需用費は前年当初比86％と減少したものの役務費が前年当初比118％と増加したことによる。

中でも、公金振込手数料は、1，101千円の増、前年当初比133％となった。これは、令和6年10月から公金振込の内国為替制度が公金についても有料化され、振込手数料を負担していることが役務費増加に繋がったものである。

この役務費の増加については、令和6年度予算では6ヶ月分であったが、令和7年度においては、12ヶ月分となるため増加したことによる。本来であれば、公金振込手数料が有料化された期間が2倍となったものの、133％の増加に収まったのは、システムの変更、DVDや納付書払いであったものを伝送するなど、経費削減に取り組まれたことを大きく評価したい。

今後も、公金の安全性の確保と適正な収支の実現と共に、適正かつ効率的な会計事務を確実に遂行するため、職責を果たしていただくことに努められたい。

■議会事務局

令和6年度から本格的に運用開始された「タブレット端末」の活用については、引き続き、ペーパーレス化を図ることはもとより、事務負担の軽減に努められたい。

また、議員研修については、県議長会や郡議長会主催の研修と併せて町独自の研修を実施する等、議員の資質向上や円滑な議会運営に向けた取組みに期待したい。

厚生文教経済常任委員会　調査報告書

調査案件
・令和７年度錦町一般会計予算
・令和７年度錦町介護保険特別会計予算
・令和７年度錦町国民健康保険特別会計予算
・令和７年度錦町後期高齢者医療特別会計予算
に係わる厚生文教経済常任委員会所管事項

調査の結果及び意見

■住民福祉課

（住民係）

マイナンバーカード申請については、申請率90．９％、交付率82．５％と全国平均より高い率となっている。マイナンバーカードが保険証や免許証など、機能が拡充される中、更新の時期を迎える方が増えてくる。町民の方へ広報、周知を重ねて行い、不利益が発生しないようにされたい。

また、住民票等のコンビニ交付のサービスについては、多額の初期費用と契約料が掛かるが、今後、計画的に導入を進められ、町民の方への交付サービスの向上を望む。

（福祉係）

物価高騰の中、毎年予算額が増加するわけだが、国、県と連携し、必要な町民の方へスムーズに交付が行われ、支援が拡充されることを望む。

（子育て支援係）

児童手当交付事業については、国の支援が拡充され、所得制限が撤廃された。令和７年度については、２２６，２７６千円計上されている。

これまでの保育料無償化などの支援と併せ、安心して子育てが出来る施策が講じられているが、より出生率が向上することを期待したい。

（環境係）

人吉球磨クリーンプラザの移転計画のために、令和７年度より移転準備の予算が計上されている。

ゴミの収集回数増により委託料は増加しているが、護美対策推進委員の協力を得ながらゴミの分別と資源化の推進により更なる減量化に努められたい。

■保険政策課

（保険・年金係）

国民健康保険事業では、健診受診率の向上、重症化予防等の取り組みについては、健康増進課と連携しながら、事業の遂行に努められたい。健診は、疾病の早期発見、早期治療につながることから、更なる町民への意識高揚を図られたい。

国保人間ドック助成については、これまで委託医療機関での日帰りドックのみが助成対象となっていたが、委託医療機関以外での人間ドック、１泊２日の人間ドックも助成対象に拡充されており、受診者が増えることを期待したい。

（高齢者支援係）（地域包括支援係）

高齢者タクシー利用事業は、住民税非課税世帯のみが対象となっていることから、更なる利便性の向上のため、課税世帯の免許返納者についても助成の対象となるよう検討を望む。

介護保険特別会計については、要介護認定者の増加、重度化により介護給付費は年々増加傾向にあるので、引き続き介護予防事業に取り組まれたい。給付費の抑制につなげるため、これまで以上に健康寿命を延ばす意識づけが重要であると思われるので、あらゆる機会を通して町民の意識醸成に努められたい。

■健康増進課

健康推進員及び食生活改善推進員等の協力を得ながら町民の健康を守る活動は、いきいきサロン等の小さなコミュニティに関わるような取り組みを計画的に実施されたい。

予防接種については、帯状疱疹定期接種化に伴い、接種費用の７割が助成されることは評価したい。

母子保健事業は、妊婦に対する遠方の分娩取扱施設への交通費及び宿泊費支援事業が実施予定であり、益々事業の充実が図れるものである。

健診事業は、基本健診、がん検診、中学生健診等実施が前年度同様に実施されるが、「健康づくり」としては、町民一人ひとりが健康に対する意識を持つことが重要である。健診後の保健師等の「顔の見える」地道な個別訪問活動により、町民の健康意識の共感を得るような取り組みを強化されたい。町民一人ひとりの健康意識の醸成が、町全体の健康意識の醸成につながるので、保健指導体制の更

なる充実を図られたい。

■農林振興課

担い手の減少や農業従事者の高齢化により厳しい農業情勢が進む中、農業の担い手育成確保として、国の就農準備資金・経営開始資金補助金や錦町独自の農業担い手支援給付金事業の両事業の活用によって多くの農業後継者が育っている。引き続き取り組まれ、定着に向けて更なる充実を望む。

農業振興費として、果樹高品質化施設等導入事業等により、果樹の品質向上化に向け条件整備等に取り組んで果樹の振興を進められている。また、農業用ドローンオペレーター養成事業などのスマート化展開事業等を支援されているが、農業の担い手不足や農業の効率化などに向け支援を望む。

畜産振興として、農業ヘルパー助成割合を引き上げ、支援して頂いている。休日の時間が取れ、若い人の定着が進むと考える。

令和7年度より、農業共済組合の収入保険加入時の支援として農業経営収入保険掛金助成事業補助金が取り組まれ、安定した農業経営につながると考える。

中山間地域等直接支払交付金事業及び多面的機能支払交付金事業の活用については、引き続き計画性を持って地域活動や営農の継続等に対して支援を行われるよう関係機関と連携して進められたい。

有害鳥獣対策については、被害がますます増加しているが、今回、猟期内もイノシシは補助対象となった。これからも安心して農林業を営むため、関係機関団体と連携し、捕獲対策や侵入防止等に取り組むとともに捕獲従事者の確保育成に努められたい。

■農業委員会

高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農地の集約化等に向けた取り組みが必要となる。目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画の実現に向け、作成した目標地図等を有効に活用し、地域での話し合いや農地バンクを活用した農地の集約化を図られたい。

農業者年金は、老後の備えとしても重要な制度であるので、積極的な周知、勧誘に努められたい。

農業委員会活動の周知として、農業委員会だよりや広報を利用した情報発信に努められたい。

今回の改選にあたり、女性委員の増が見込まれ、今後の活躍を期待したい。

■教育振興課

（学校教育係）

小中学校のGIGAスクール事業で実施するタブレットの更新が計画され、小学校51，377千円（699台）、中学校27，857千円（379台）である。本町では、学校教育に対し様々な助成を行っている。教育環境の整備とともに、更なる子どもたちの学力向上、心身の成長に寄与されたい。

（社会教育係）

昨年行われた分館対抗球技大会は、数種目を合同で行う新しい試みの大会となった。全ての分館が参加することができ、本年度も多くの町民の方々が参加できる行事計画を望む。

（学校給食センター）

今回、給食費の大幅な値上げを行うが、これは、食材を始めとする物価高騰によるもので避けられないものと考える。本町では、現在、小中学校の給食費の無償化を行っており、保護者の負担は無いが、給食費の内容については、保護者への周知は必要と考える。継続性が求められる事業であることから、財源を確保し、おいしくて安全な学校給食の提供に努められたい。

令和6年12月16日に開催された「農業団体との意見交換会」

令和6年度

錦町 子ども議会

令和7年1月15日、子ども議会が開かれ、錦中学校3年生の8人が参加しました。議長は2人が務め、質問者として6人が登壇しました。

質問・答弁の詳しい内容は「広報にしき3月号」に掲載されていますので、ここでは、子ども議会に参加した中学生の皆さんからいただいた感想を紹介します。

参加した中学生の皆さん
（前列左から3番目は森本町長・右は毎床教育長）

中村　留菜さん

私は、子ども議会で錦町の農業が少しでも発展するために、課題と今後の対策について質問しました。これからの錦町の農業発展のために、思いが多くなりましたが、全て伝えることができました。

私は、小学6年生と中学3年生で、2回子ども議会を経験しました。このような機会を得ることは、もうないかも知れません。とても良い経験となりました。

蔵座　琉希音さん

今回、初めての体験だったので、とても緊張しました。僕はこれまで錦町の議会や行政の取組について、あまり関心がありませんでした。

しかし、仲間と一緒に頑張れたので、錦町のことを深く知るとともに、本番でも余裕を持って発表することができました。この貴重な経験を今後に生かしたいです。

中村　芽衣さん

今回の子ども議会を通して、錦町の住民の一人として、様々な視点から錦町について考えました。「身近にある課題を解決したい。」「もっといい町にしたい。」という思いで、社会の授業に参加できました。

これから、自分にできることを始めたいと思います。とても貴重な体験をさせていただきました。

藤川　恭佑さん

僕が子ども議会を通じて成長できたと思うことは二つあります。

一つ目は、たくさんの人の前で、自分の意見を堂々と発表できたことです。みんなの前で発表することが苦手だったので、とてもいい経験になりました。

二つ目は、聞いてる人のことを考えて、聞き取りやすい速さと音量で話すことができたことです。家で練習した成果を出すことができました。

水野　清雅さん

今回の子ども議会を通して、錦町民としての自覚と誇りを持つことができました。また、錦町図書館の活用等、よりよい町にするための取組について、しっかりと考えることができました。

今後も、錦町の将来のために、ボランティア活動等に積極的に参加していきます。

和泉　千尋さん

子ども議会について要望や質問の材料を集めていくうちに、「この考えを伝えたい」という思いが出てきました。

実際に参加し、中学生でも町に意見を出すことができ、一町民としての自覚を高めることができました。

3年後に選挙権を持つ私たちにとって、政治と深く関わるきっかけになりました。

赤池　莉杏さん

私は、子ども議会に参加して「高齢者対策」について質問しました。これまでは、町の高齢化率や対策についてあまり知りませんでした。しかし、子ども議会に参加したことで、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組等について知ることができました。

私たちも、ボランティア活動に積極的に参加したり、世代間交流をしたりして、町を支える一員になりたいです。

岡村　橙香さん

私は子ども議会の議長を担当し、色々なことを知ったり考えたりすることができました。これまでは、錦町の課題や政治についてあまり興味を持っていませんでした。しかし、この学習をきっかけに町政について深く調べ、政治に触れることができました。

私たちは3年後に投票権を持ちます。「投票」という形で政治に積極的に参加しようと思います。

熊本県町村議会議長会表彰

正副議長として７年以上在職

荒川 孝一　議　長
金山 民幸　前議長
が授賞

令和７年２月21日、熊本県町村議会議長会　第75回定期総会がホテル熊本テルサ（熊本市中央区）で開催され、表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、町村議会正副議長として７年以上在職した方を表彰するもので、本町からは、荒川孝一議長と金山民幸前議長が授賞となりました。

この日は、錦町議会を代表して出席した現議長の荒川議長に、熊本県町村議長会の上田孝会長から表彰状が手渡されました。

軌跡

昨年９月に体調を崩し、年初に完全回復となりました。多くの皆様にご心配とご迷惑をお掛け致しました事、この場を借りてお詫び申し上げます。さて、２月より体調管理の一環でウォーキングを始めました。スマホの万歩計アプリを使い集計したところ２月は２０３キロ、３月は１８７キロ歩いていました。

歩くことでまず感じるのは季節の変化です。原稿を書いている今は桜が満開で、それこそ蕾から毎日の変化を楽しめます。風の変化、草花など春の訪れを感じます。

世界のニュースに目を向けると、戦争など世界情勢の混沌、地震や火事などの災害、とりわけ米大統領による世界経済の激動が目に留まります。毎日、株式市場・債券市場・為替市場が乱高下している状況の中、先月・先週・昨日・今日・午前・午後・・・秒単位での変化が起こり、未来将来が不安になります。

「方丈記」の冒頭に【ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず】とあります。早朝のゆったりとした球磨川の流れを見ながら、ゆっくりと歩を進めていると、古（いにしえ）の人たちに思いを馳せ、先祖の偉大さに改めて気づきます。世界中の皆が優しく、川の流れのようにゆったりとした気持ちで毎日暮せたらいいのに、と思う今日この頃です。

文責　丸小野　聖一

球磨川と朝日

【広報特別委員会】
委員長　早田　和彦　　委　員　石松まゆ子
副委員長　丸小野聖一　　髙田　孝徳
吉田　眞二
議　長　荒川　孝一

議会のうごき

1月

4日	二十歳のつどい
6日	全員協議会
8日	定例郡議長会議
9日	錦町新春の集い
12日	錦町消防団出初式
15日	広報特別委員会
	子ども議会
20日	例月出納検査（・22日）
22日	広報特別委員会
23日	熊本県町村議会議員研修（オンライン）
24日	健康祈願祭（西村大王神社）
29日	球磨郡監査委員連絡協議会研修会

2月

4日	令和7年第1回臨時会
	全員協議会
	遊水地計画に関するヒアリング
8日	にしき産業フェスタ
13日	定例郡議長会議
14日	下球磨町村議会議員研修
16日	くらんどつながる市
17日	例月出納検査（～18日）
19日	球磨郡町村議会議員と人吉市議会議員との合同研修
21日	熊本県町村議会議長会定期総会
27日	人吉球磨広域行政組合議会定例会
28日	人吉下球磨消防組合議会定例会

3月

1日	球磨中央高校卒業証書授与式
4日	議会運営委員会
	全員協議会
8日	にしきまちボランティアフェスティバル
9日	錦中学校卒業証書授与式
11日	令和7年第1回定例会（～19日）
16日	沖鶴橋完成式（球磨村）
18日	3.18人吉航空基地空襲受難者慰霊祭
21日	町内各小学校卒業証書授与式
24日	例月出納検査（～25日）
25日	定例郡議長会議
	人吉球磨広域行政組合議会定例会
	消防団備品監査
28日	令和7年第2回臨時会
	熊本県町村監査委員協議会定期総会及び研修会

発行／錦町議会
発行日／令和7年4月30日
印刷／㈲町田印刷
編集／錦町議会広報特別委員会
熊本県球磨郡錦町大字一武一五八七
TEL0966-38-4421